

投資や消費者トラブル学んで

J Aとうと、J A岐阜信連 多治見西高で講座



吉岡利記さん(右端)から投資について学ぶ
1年生＝多治見市明和町、多治見西高校

J Aとうと(多治見市)とJ A岐阜信連(岐阜市)は12日、金融教育プログラムの講座を多治見市明和町の多治見西高校で開いた。公共の授業の一環で1年生約100人が投資や消費者トラブルについて学んだ。

J Aとうとが金融リテラシーを高め、消費者トラブルの未然防止を図ろうと、地域貢献策として初めて企画。投資は岐阜信連J Aバンク支援部副査役の吉岡利記さんが講師を務めた。吉岡さんは長期的に収入を増やすには、自分に投資する「自己投資」、株式投資など他人に投資する「金融投資」の二つの手段があると紹介。▽何をして感謝

される人になりたいか▽自分の好きなこと・得意なこととは何か▽やりたいことは将来どうなっているか―を自己投資のポイントに挙げ、これら特長や強み、将来性を見る視点は投資先企業を選ぶ上でも重要だと説いた。また「短期間で楽しむもつかることは絶対にな」と詐欺に注意を促した。

1年吉原弥央さんは「投資に興味があった。有名になりそうかどうかなど将来性を見る必要があると思った」と感想を話した。消費者トラブルは、県消費生活啓発推進員の佐藤逸子さんが講師を務め、契約に関する知識やインターネット通販利用の注意点を伝えた。

(小森直人)